

つながる
広がる
ひびき合う

中高生のチャレンジ精神
を目の当たりにして

中高生の活動及び交流拠点として開設された青少年育成プラザ・ミアキス。愛称は犬や猫などの祖先と言われている動物の名前で、これからの取り組み次第で何者にも進化する中高生の可能性への思いが込められています。

ミアキスでの活動は自由。勉強だけでなく、プロジェクトの話し合い、イベントの実施、他校の生徒や大学生との交流、大人図鑑という仕事や社会を知る企画への参加など

昨年10月9日に、市民交流センター・ニコリ地下1階にオープンした「青少年育成プラザ・ミアキス」。市民のアイデアと想いから始まったこの取り組みは、約5ヶ月という期間を経て徐々に広がりを見せはじめ、中高生の間にも新しい風が吹き始めています。まだミアキスを知らない中高生の皆さん、ミアキス始めてみませんか！

■問い合わせ 企画財政課人口対策担当(内線358)



▲空間デザインには中高生も参加。スタッフと一緒にアイデアを出し合いながら、自分たちの拠点作りに取り組みました。

皆さんここでの充実した時間を過ごしています。

当初開設するにあたり、学校の先生方や保護者の皆さんからは不安な声も聞かれました。ミアキスが悪いあまり場にはならないだろうか？部活に取り組み生徒がほとんどだから、利用者はいないのではないだろうか？等々。

しかし1月末現在での登録者数は775人、利用者延3318人、1日平均33人と予想を大幅に上回る利用率で、活動の核となる中高生プロジェクトも、昨年末に実施されたクリスマスパーティーや

2月の文化祭、葦崎の魅力を中高生目線で探る「ニラサキ大探検」、ミアキスのパンフレット作りや紹介ムービー制作など現在までに10以上の様々なプロジェクトが芽を出しており、こつした活動を目の当たりにした先生方や保護者の皆さんも今ではミアキスでの催しにも顔を出していただくくらい強い応援者にもなっています。

自由な発想で何にでもチャレンジできるミアキスは、まだまだ始まったばかりですが、その取り組みは熱くそして元気が溢れています。



▲中高生と大学生が一緒になって政治とどう関わるかを考える企画も好評でした。

未来を担う人材作りの
場として期待する

葦崎高校 教頭

池谷佐知子先生

『ミアキスが、中高生の第三の居場所として、勉強したり、議論したりしながら、社会と繋がるきっかけづくりを目的としていることから、学校と若者と地域というネットワー



▲定期的に行われている大人図鑑。毎回多彩な職業の方々と交流する人気企画

クの一部となり将来地元で活躍する人材を育成するという意味でもサポートをしていきたいと思っています。

また、学校としても生徒の安全管理を第一に考えていますが、市及び市教育委員会が支援に回っていただき、NPO法人河原部社のスタッフが管理・運営をしていただけるため、安心できるシステムだと思っています。

10月以降、何人も葦高生が運営スタッフとして活躍の場をいただいたり、またスタッフ以外の生徒もミアキスの場を借りて様々なプロジェクトを企画・運営できるようにもなりました。

今後連携しながら中高大学生と社会とのネットワーク作りや、未来を担う人材作りを支援していきたいと考えています。

中高生のポテンシャルの高さに驚きとやりがいを感じています！

私たちが当初想定していた人数よりも多くの中高生に利用していただいたうえ、生徒自身が主体となって取り組むプロジェクトも順調に動き出すなど、中高生のポテンシャルの高さを感じていますね。

大学生と比べても、行動力や考え方などしっかりと準備が備わっており、サポートをすることでもっとレベルアップしていくことが期待でき、スタッフもミアキスの運営にやりがいを感じています。ミアキスはまだまだ始まったばかりです。結果や成果を焦らずに、今はじっくりと中高生のニーズを把握したなかで、利用しやすい拠点作りを行



ミアキス施設長 西田 遙さん

山梨大学在学中に学生が制作から運営までを行うシェアスペースiira(いいら)を創設。現在はNPO法人河原部社理事も務め、若者と社会をつなぐ環境づくりに取り組む。(韮崎高卒業生)



▲知り合う機会の少ない大学生との交流企画にも多くの中高生が参加。少し上の先輩の話に皆さん熱心に耳を傾けていました。

い、もっとたくさんの中高生に利用していただけるような環境を整えることを心がけています。今後は、地域の方々にもご協力をいただきながら、社会全体でこの事業に取り組む風土を醸成していけるよう、呼びかけていきたいですね。

新しい仲間に出会える場所

宮川智花さん(韮崎高3年)



ミアキスを利用して今まで知り合う機会なかった他校の生徒と知り合うことができました。みんなが考えた企画も一つひとつ形になっていて、すごく刺激になります。私も大好きなダンスを通して新しい仲間と繋がりあい、そして日々高めあっています。ミアキスはまさに私たちの生活の一部ですね！

「何を学ぶか」ではなく「どのように学ぶか」が重要

2020年の学習指導要領で、「社会に開かれた教育課程」の導入が予定されているなど、教育と社会をつなぐ環境が大きく動き出そうとしています。

社会に開かれた教育課程の実施にあたってポイントになるのが、地域の人的及び物的資源を活用したり、放課後や休日を活用し、社会教育との連携を図ったりするなど、地域や社会と一緒に取り組むことが求められてきます。

「地域に学ぶ」「地域社会に貢献する」という地域づくりの視点と方法を取り入れながら、中高生自身が、自らが暮らす街をどのように良くする



▲中高生プロジェクト企画の一つ「小屋作り」の作業の様子。専門スタッフの指導を受けながら、仕上げていきます。

かを考えるということ、ミアキスでの中高生プロジェクト等を通して経験できるのではないのでしょうか。

地域社会があつてこそミアキス

ミアキスは基本的には、中高生のためのスペースのため、その他の世代の方々の利用はできませんが、取組状況などを広く知っていただくためにも、見学などの対応も随時行っていますので、お気軽にスタッフまでお声かけください。

また、大人と中高生の関わりを生むことも大きなテーマの一つであることから、様々な企画やイベントなどを通して、地域の皆様のご協力をお願いいたします。

ここに住む全ての皆さんが「チーム韮崎」の一員です。一緒に取り組みましょう。

ミアキスの運営に携わってみませんか？ 中高生ボランティアスタッフ募集

運営補助や中高生プロジェクトのサポートなどにご協力いただく、中高生スタッフを募集しています。詳しくはミアキスまで。

■問い合わせ

青少年育成プラザ・ミアキス
☎0551-45-9919